

◇勝野眞言彫刻展 大地のメモリア 旅のあとさき

10日、熊本市中央区の肥後の里山ギャラリーで始まった。10月10日まで。崇城大名誉教授の勝野さん(72)「埼玉県所沢市」が、天草陶石や水俣の土を使った人物の彫刻や、素描画など169点を展示。高温の電気窯で焼き上げる過程で上半身が自然に傾いた全身像は、慈悲深い表情を浮かべている。腰かけた女性の像は、黒く炭化させた頭部と、グレーやオレンジの胴体などとの色のコントラストが目を引く。勝野さんは「熊本の多彩な素材を使って、命の形を表現した作品を見てほしい」と話した。



人物の彫刻などを並べる勝野眞言さん

「10日、熊本市中央区」